様式第１号の２（第６条の２関係）

土砂災害特別警戒区域に係る対策工事状況報告書

　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 尾道市長（建築主事）指定確認検査機関 | 様 |

住所

工事監理者

（　　）建築士（　　）登録第　　　　　　　　　　号

（　　）建築士事務所（　　）知事登録第　　　　　号

電話（　　　）

　　次のとおり、建築基準法施行令第80条の３に係る対策状況を報告します。なお、この設計内容のとおり、工事監理者として適正に工事監理を行っています。

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　　　目 | 記　　　　入　　　　欄（該当する□をチェックし、必要事項を記入すること。） |
| １ | 土砂災害特別警戒区域の土砂災害の種類 | □急傾斜地の崩壊　　□土石流　　□地滑り |
| ２ | 土砂災害特別警戒区域の復元方法 | □公示図面の１/2500区域図により図面上に復元□基礎調査調書の座標を測量図以外の図面上に復元□基礎調査調書の横断面図により図面上に復元□基礎調査調書の座標を現地復元・測量し図面上に復元□基礎調査調書の座標を既存の測量図上に復元□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ３ | 土砂災害特別警戒区域に建築物が含まれるか | □含まれる。□含まれない（２の土砂災害特別警戒区域線の復元は適切に行った。）。（→以後４～６は記入不要） |
| ４ | 土砂災害対策の方法 | □建築物本体の外壁等　　□門又は塀、土留め擁壁等□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ５ | 建築物に作用する土石等の力 | 移動する土石等 | 堆積する土石等 |
| 最大の力の大きさ | kN/㎡ | 最大の力の大きさ | kN/㎡ |
| 高さ | ｍ | 高さ | ｍ |
| ６ | ５の土砂災害対策の各部材の寸法、鉄筋量等の決定方法 | □平成13年国土交通省告示第383号の仕様規定による。□構造計算による（限界耐力計算を含む。）。 |
| 本申請建築物は、建築主と協議の上、上記により設計し、建築基準法施行令第80条の３の規定に適合するものとなっています。設計者　　　　　　　　　　　　　　　（　　）建築士（　　）登録第　　　　　　　　　　号（　　）建築士事務所（　　）知事登録第　　　　　号 |

注　１　この報告に係る土砂災害特別警戒区域の区域図を添付すること。

　　２　この様式の１から６までへの記入及び設計者の記入、押印に代えて、建築基準法施行令第80条の３に規定する構造方法への適合性審査に必要な図書（構造詳細図、配筋図、構造計算書等）を添付することでも可とする。この場合は、記入欄全体に斜線をした上で「別添による」と特記し、必要な図書を添付すること。

３　不用の文字は、消すこと。

４　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４とする。